

# がんばろう、 の気持ちで。

危険が去っていくまで、じっと待つ。  
でも、もっとほかにもできることがある。はげましあうこと、助けあうこと。  
おだやかなくらしを一日も早く取りもどすために、  
時には力をあわせて、洪水に立ち向かう勇気をもって。

## 住まいの あと始末

洪水におそわれた住まいはたいへん。しかし気持ちを強く持って、  
まずは住まいの被害状況のチェックから。水害が適用される保険  
に入っていれば、もちろん保険会社へ連絡を。



### 避難先での注意

いつもとちがう不自由な生活は、だれも  
が不安なもの。お互いをいたわりながら、  
責任者の指示にしたがってください。  
自宅へ帰れるのは雨や風がピーク  
を越えたあと、安全を確かめてから。  
しかし大きな川の氾濫や地スベ  
リは、遅れて発生することもし  
少なくありません。役場や水防  
団の情報から、慎重に判断  
して行動してください。

### 応急対策が とられるまで

水害が発生すると、市町村の役  
場などに災害対策本部が置かれ、  
応急対策が行われます。しかし被害  
が大きい場合は、その対策にも限り  
があります。一人一人が助け合って被災者  
を救ったり、生活用品を分け合ったり…協力  
し合って災害から立ち直る気持ちが大切です。



### ● 住まいの修理

安全を確かめてから、応急修理。家の中へ風を通し、乾燥させることも大切です。

### ● 家財道具

水をかぶった家財道具は、水洗いをします。そのあとで石灰をまいたり、クレゾール液でふくなどの消毒をじゅうぶんに行ってください。市町村による防疫活動も行われます。

### ● 電化製品・精密機械

水をかぶった電気製品は、家電店で点検と修理をしてもらいましょう。精密機械は一刻も早く専門店へ。

### ● 電気・ガス

家中の設備を見回り、異常があればすぐに電力会社やガス会社に連絡を。

### ● 水道

井戸も含めて、飲める水かどうか慎重に判断し、煮沸してから利用します。保健所で水質検査をしてもらえば万全です。

### ● じゅうたん・カーテン

よく水洗いをして干し、乾燥させてください。

### ● 粗大ゴミ・家庭ゴミ

水をかぶって使えなくなったものや、流れてきたゴミはまとめてゴミ回収に。災害時のゴミは衛生上、早急に処理しなければなりません。被災から時間が経ち、ゴミが通常集配になってからの処理は、地区により回収できないものや、費用のかかるものがあるので、事前に市町村の清掃担当などに連絡を。

もし、洪水で被災したら…

